

情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会
CISPR A 作業班 (第 2 回) 議事要旨 (案)

- 1 開催日時：平成 23 年 8 月 2 日 (火) 10 時 00 分～11 時 30 分
- 2 開催場所：総務省 10 階 1002 会議室
- 3 出席者 (順不同)

【構成員】篠塚主任 (NICT)、田島主任代理 (NTT)、雨宮構成員 (NTT-AT)、石上構成員 (NICT)、石田構成員 (ARIB)、黒沼構成員 (協立電子)、小根森構成員 (JEMA)、杉浦構成員 (NICT)、垂澤構成員 (NTT ドコモ)、中村構成員 (JBMIA)、濱住構成員 (NHK)、星構成員 (VCCI)、益田構成員 (JET)、三塚構成員 (TELEC)、宮田構成員 (JEITA)

【事務局】浦賀監視官・加賀谷係長・郷藤 (総務省)

4 議事概要

- (1) 事務局から配付資料の確認が行われた。
- (2) 事務局から構成員交代の説明があり、新構成員の挨拶があった。
- (3) 資料 2-1 前回議事要旨案について、修正意見等あれば 1 週間以内に事務局まで連絡することで承認された。
- (4) 資料 2-2 CISPR ソウル会議 SC/A 対処方針 (案) について、篠塚主任から説明があり、以下の議論の後承認された。
 - 杉浦構成員：CDNE 法について、放射妨害波との相関は無視ということか。
篠塚 主任：メーカーによって異なっていたので、これから議論される。
 - 杉浦構成員：LGL を定義せよとのことだが、どこの LGL を測定するのか。
 - 雨宮構成員：CDNE そのものの LCL である。300MHz まで決めなければならないので、各メーカーから実現可能な数値を提出してもらい、放射妨害波との相関については今後議論する。
 - 杉浦構成員：コンセントからみた LCL を定義しなければならないのではないか。
 - 雨宮構成員：CISPR16-2-1 に追加すると、照明器具以外でも使用可能となるため、決定する必要があるが、段階的にまずは照明器具について決定する予定。
 - 杉浦構成員：シアトル会議にて VHF-LISN を提案したが、ソウル会議ではどうなるのか。
篠塚 主任：CISPR16-1-4 に無いという理由で、継続審議とならなかった。
 - 雨宮構成員：SC/I にて提案予定である。
 - 星 構成員：まずは製品規格の方で検討してもらおう。

(5) 資料 2-3 CISPR ソウル会議 SC/A WG1 対処方針（案）について、篠塚主任から説明があり、以下の議論の後承認された。

○杉浦構成員：現在、NICTにてHF帯の放射妨害波測定サイトの適正評価を検討中で、ま
とまれば提案予定。

両宮構成員：5月のSC/I WG1 パリ会議でも話題となった。9月のベルリン会議に間に
あうと良い。

(6) 資料 2-4 CISPR ソウル会議 SC/A WG2 対処方針（案）について、田島主任代理から説明があり、特に異議なく承認された。

(7) 資料 2-5 CISPR ソウル会議 JTF A/F 対処方針（案）について、両宮構成員から説明があり、以下の議論の後承認された。

○篠塚 主任：ラウンドロビンテストはパナソニックだけで実施されたのか。

両宮構成員：パナソニック、KEC、JETにて実施した。

(8) 資料 2-6 CISPR ソウル会議 SC/A 関連会議参加者（案）について、事務局から説明があり、特に異議なく承認された。

(9) その他

次回会合は未定。

以 上